

本誌特別編集委員 Michael Conant 博士 カリフォルニア大学バークレー校名誉教授を偲んで

愛知大学大学院会計研究科教授・筑波大学社会工学系名誉教授 星野靖雄

本誌の編集委員長 並木先生の 2012 年 12 月 11 日のメールが守島会長より転送され、Conant 名誉教授が亡くなられたことを知り、特別編集委員に推薦した責任者として同教授の思い出を述べてみたい。

Conant 教授とは、筆者が東洋大学経営学部助教授で 1 年間の在外研究の受け入れ先であったカリフォルニア大学バークレー校の経営大学院で知り合いとなった。当時、経営大学院があった Barrows Hall の同じ建物で研究室が与えられていたので、話をし知り合いになった。日系人の話とか、バークレーの Ph.D. であり、英語が極めて堪能な日本人として竹内弘高ハーバード大学大学院教授の話聞いたことが記憶にある。バークレーの経営大学院が Barrows Hall から California Memorial Stadium の北西にある Haas School of Business に移動してから、少なくとも 2 回はお目にかかっている。

1994 年の 4 月より名古屋外国語大学国際経営学部開設に際して、海外の有名教授を招聘して集中講義を依頼する企画があった。当方は開設の非常勤講師として承諾していたので、該当者を推薦した。その 1 人が Conant 教授であった。バークレー校のファイナンス、会計分野の責任者であり、当方を Research Associate として受け入れられた Nils H. Hakansson 教授も推薦した。Hakansson 教授のほうは、現時点でも UC Berkeley の HP 中に名誉教授として履歴や写真等が掲載されており、客員教授として名古屋外国語大学で 1996 年 7 月に講義されたことが記載されている。しかしながら、Conant 教授は、弁護士として国内での裁判で係争中とのことで非常勤講師をされることを途

中で辞退された。

学会の機関紙「経営行動科学」Vol.18, No.3 2005, pp.245-252 に Conant 教授へのインタビューを掲載した。そこでは、米国でも 1991 年までは強制的な 70 歳の定年があり、それ以降は定年が廃止されたと話された。その時点で、それまでに退職すれば勤続年数に 5 年をプラスした年金が受給できるという特別制度があった。Conant 教授はその時 UC Berkeley に 37 年勤務であり、プラス 5 年の 42 年分の年金が受給できることとなり、退職され名誉教授となったと言われた。これにより、それまではハーフタイムの研究時間しか取れず、残りのハーフタイムが講義や業務であったが、退職以降フルタイムで研究時間が取れるようになったと言われた。Conant 教授がシカゴ大学の経済学 Ph.D. を取得されたさいの審査委員は、ノーベル経済学賞受賞のフリードマン教授 (1912-2006, 1976 年受賞) であり、その 3 年後には J.D. (Juris Doctor, 法務博士) もシカゴ大学で取得された。同じロースクールでの同窓生は 98 人であり、その中に米国で最初のアジア系の女性国会議員であった日系 3 世の Patsy Takemoto Mink 女史 (Patsy Matsu Takemoto Mink (Japanese: 竹本まつ, 1927-2002)) がいたと話され、自慢であると言われた。http://en.wikipedia.org/wiki/Patsy_Takemoto_Mink

Conant 教授ご夫妻にはお子さんがないので、教授はシカゴ大学に年 1 万ドル、奥さまは環境保全等に年 2.4 万ドルを寄付されると話しておられた。少額の寄付でさえ熟慮のうえ実践するのがやっとの当方としては、尊敬に値する。インタビューでは、最後にユダヤ人であることを

話され、旧約聖書はキリスト教でも共通であると言われた。

大学を退職後はフルタイムの研究者であると考えられ、精力的に研究活動を実践された先生は、大いに見習うべき大先輩と思われる。

なお、著書は、Conant・Hoshino (2005) に掲載した 6 冊以外に 2008 年刊の下記がある。

Conant, Michael, *The Constitution and Economic Regulation: Objective Theory and Critical Commentary*, Transaction Publishers (2008/5/31)

先生のご冥福を心よりお祈りいたします。

参考文献

- Conant, M., & Y. Hoshino 2005 Interview with Special Editor of JAAS, Professor Emeritus Michael Conant, Haas School of Business, University of California at Berkeley on March 7, 2005, at his office. *Japanese Journal of Administrative Science*, **18(3)**, 245-252.
- Conant, M. UC Berkeley Faculty and Research, December 31, 2012.
<http://facultybio.haas.berkeley.edu/faculty-list/conant-michael#top>
- San Francisco Chronicle, Michael Conant Death Notice, December 14, 2012.
<http://www.legacy.com/obituaries/sfgate/obituary.aspx?pid=161639542#fbLoggedOut>